

報道発表

令和4年12月16日
名古屋税関
四日市税関支署



令和4年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年11月分について、輸出額は「自動車」、「科学光学機器」、「プラスチック」などが減少したことから、対前年同月比8.3%の減少となった。また、輸入額は「石炭」、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同18.3%の増加となった。

その結果、差引額は1,096億円（同50.7%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	815億円	▲8.3%	1,910億円	+18.3%	▲1,096億円	+50.7%
	20カ月ぶりの減少	20カ月連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 映像機器	31億円	全増	輸入	増加品目	(1) 石炭	205億円	+111.8%
		(2) 電気回路等の機器	82億円	+31.1%			(2) 原油及び粗油	986億円	+10.5%
		(3) 建設用・鉱山用機械	21億円	+37.6%			(3) 液化天然ガス	261億円	+43.2%
	減少品目	(1) 自動車	49億円	▲61.2%		減少品目	(1) 液化石油ガス	61億円	▲39.4%
		(2) 科学光学機器	7億円	▲82.7%			(2) 石油製品	74億円	▲25.4%
		(3) プラスチック	50億円	▲35.7%			(3) 家庭用電気機器	5億円	▲36.3%
地域別動向		西欧、アジアが減少、北米は増加			地域別動向		中東、大洋州が増加、北米は減少		

（参考）ドルレートは、146.44円（前年同月比28.5%、32.49円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。